福井市自然史博物館の設置及び管理に関する条例

平成24年3月22日

条例第4号

改正 平成26年9月24日条例第38号

平成31年3月20日条例第7号

福井市自然史博物館設置条例（昭和45年福井市条例第45号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 郷土における自然史に関する知識の普及を図り、文化の発展に資するため、福井市自然史博物館（以下「自然史博物館」という。）を設置する。

2 自然史博物館に分館を設置する。

（位置）

第2条 自然史博物館は、福井市足羽上町147番地に置く。

2 自然史博物館の分館（以下「分館」という。）は、福井市中央1丁目2番1号に置く。

（事業）

第3条 自然史博物館（分館を除く。）は、次に掲げる事業を行う。

(1) 自然史に関する資料（以下「資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。

(2) 資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は実習室、図書室、会議室等を設置し、これを利用させること。

(3) 自然史に関する調査、研究及び助言に関すること。

(4) 自然史に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の作成及び頒布に関すること。

(5) 自然史に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。

(6) 他の博物館、博物館と同一の目的を有する施設等と連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。

(7) 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。

(8) 自然史博物館（分館を除く。）の施設及び設備の提供に関すること。

(9) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な事業

2 分館は、次に掲げる事業を行う。

(1) 天文及び宇宙科学に関する資料（以下「天文資料」という。）の収集、保管、調査、研究及び展示に関すること。

(2) ドームシアターでの天文資料の投影及び解説並びにその他の映像の投影に関すること。

(3) 分館の施設及び設備の提供に関すること。

(4) 前3号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な事業

（入館の拒否）

第4条 福井市教育委員会（以下「教育委員会」という。）及び第15条の規定による指定を受けて分館の管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）は、自然史博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒否することができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱す行為をするおそれがあるとき。

(2) 他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがあるとき。

(3) 自然史博物館の施設及び設備（以下「施設等」という。）又は資料を損傷するおそれがあるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、自然史博物館の管理及び運営上支障がある行為をするおそれがあるとき。

（入館料）

第5条 自然史博物館（分館を除く。）に入館しようとする者は、別表第1に定める額の入館料を市長に納付しなければならない。

（入館者の遵守事項）

第6条 自然史博物館に入館した者（以下「入館者」という。）は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱す行為をしないこと。

(2) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。

(3) 展示品等の管理上支障のある行為をしないこと。

(4) 前3号に掲げるもののほか、自然史博物館の管理及び運営上支障がある行為をしないこと。

2 教育委員会及び指定管理者は、入館者が前項の規定に違反し、又は違反するおそれがあるときは、その者に対して退館を命じ、又は必要な措置をとることができる。

（使用等の承認）

第7条 自然史博物館（分館を除く。）の施設及び設備を使用しようとする者は、教育委員会の承

- 認を受けなければならない。
- 2 分館の施設及び設備を利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の承認を受けなければならない。承認を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。
 - 3 教育委員会及び指定管理者は、自然史博物館の管理及び運営上必要があると認める場合は、前2項の承認（以下「使用等の承認」という。）に条件を付することができる。
（使用等の不承認）
- 第8条 教育委員会及び指定管理者は、使用等の承認を申請する者による施設等の使用又は利用が次の各号のいずれかに該当するときは、使用等の承認をしないものとする。
- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
 - (2) 施設等を汚損し、又は破損するおそれがあるとき。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、自然史博物館の管理及び運営上支障があると認められるとき。
（使用料及び利用料金）
- 第9条 自然史博物館（分館を除く。）の施設及び設備の使用料は、無料とする。
- 2 第7条第2項の承認を受けた者（以下「分館利用者」という。）は、指定管理者にその利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を支払わなければならない。
 - 3 利用料金の額は、別表第2に定める上限額を超えない範囲内で指定管理者が定める額とする。
 - 4 前項の規定にかかわらず、特別展、特別上映及び特別の行事に係る利用料金の額は、当該展示、上映又は行事に要する費用を勘案して指定管理者がその都度定める額とする。
 - 5 前2項に定めるもののほか、指定管理者が定める施設、附属設備及び備品の利用料金の額は、実費を勘案して指定管理者が定める額とする。
 - 6 指定管理者は、利用料金の額を定めるときは、あらかじめ当該利用料金の額について市長の承認を受けなければならない。その額を変更しようとするときも、同様とする。
 - 7 指定管理者は、利用料金をその収入として収受するものとする。
 - 8 分館利用者は、利用料金を前払いしなければならない。ただし、指定管理者が後払いすることについて特別の理由があると認めるときは、後払いすることができる。
（入館料及び利用料金の不還付等）
- 第10条 既に納入した入館料は、還付しない。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。
- 2 既に納入した利用料金は、返還しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、当該利用料金の全部又は一部を返還することができる。
（入館料及び利用料金の免除）
- 第11条 市長は、特に必要があると認めるときは、入館料を免除することができる。
- 2 指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金の全部又は一部を免除することができる。
（使用者及び分館利用者の遵守事項）
- 第12条 第7条第1項の承認を受けた者（以下「使用者」という。）及び分館利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。
- (1) 使用等の承認を受けた使用若しくは利用の内容を変更し、又は使用若しくは利用の目的以外に使用しないこと。
 - (2) 施設等を毀損し、又は汚損しないこと。
 - (3) 使用等の承認を受けた施設等を転貸し、又は当該承認に基づく権利を譲渡しないこと。
 - (4) 館内の秩序又は風俗を乱す行事をしないこと。
 - (5) 承認を受けないで作品、物品等の販売、寄附金の募集、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、自然史博物館の管理及び運営上支障がある行為をしないこと。
- 2 教育委員会及び指定管理者は、使用者又は分館利用者が前項の規定に違反したときは、使用等の承認を取り消すことができる。
 - 3 使用者及び分館利用者は、施設等の使用又は利用を終了したときは、原状に回復しなければならない。
（損害賠償の義務）
- 第13条 入館者、使用者及び分館利用者は、施設等又は資料を故意又は過失により汚損し、破損し、又は滅失させたときは、損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額の全部又は一部を免除することができる。
（自然史博物館運営協議会）
- 第14条 博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定に基づき、自然史博物館に福井市自然史博物館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。
- 2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、10人以内とする。
 - 3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学校教育の関係者
 - (2) 社会教育の関係者
 - (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
 - (4) 学識経験者
 - (5) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。
(指定管理者による管理)
- 第15条 分館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて教育委員会が指定するものに行わせるものとする。
(指定管理者が行う業務の範囲)
- 第16条 指定管理者は、分館の次に掲げる業務を行うものとする。
- (1) 分館の施設及び設備の利用の承認に関する業務
 - (2) 分館の施設及び設備の維持管理に関する業務
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、分館の管理及び運営に必要な業務のうち、市長及び教育委員会のみの特権に属するものを除く業務
(指定管理者による管理の期間の限度)
- 第17条 指定管理者が分館の管理を行う期間の限度は、指定管理者の指定を受けた日の属する年度の翌年度の4月1日から起算して5年とする。ただし、再指定を妨げない。
(指定管理者の指定の申請)
- 第18条 指定管理者の指定(前条ただし書の再指定を含む。以下同じ。)を受けようとするものは、分館の各事業年度の事業計画書(次条において「事業計画書」という。)、各事業年度の収支予算書その他の教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会に申請しなければならない。
(指定管理者の指定)
- 第19条 教育委員会は、指定管理者の指定の申請があつたときは、次に掲げる基準の全てを満たしているもののうちから指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て、指定管理者の指定をしなければならない。
- (1) 分館の運営が住民の平等利用を確保することができるものであること。
 - (2) 事業計画書の内容が分館の効用を最大限に発揮させているものであること。
 - (3) 事業計画書の内容が分館の管理に係る経費の縮減を図るものであること。
 - (4) 指定管理者の指定の申請をしたものが、事業計画書に沿つた業務を安定して行う物的能力及び人的能力を有していること。
- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、前条の規定による申請がなかつたとき、又は特に必要と認めるときは、同条の規定による申請によらないで、分館の管理及び運営を効果的に達成することができるものを指定管理者の候補者として選定し、議会の議決を経て、指定管理者の指定をすることができる。
- 3 教育委員会は、第1項の規定により指定管理者の候補者を選定するときは、あらかじめ福井市附属機関設置条例(平成10年福井市条例第18号)第2条の規定により設置する福井市指定管理者選定委員会の意見を聴かなければならない。
(指定の取消し等)
- 第20条 教育委員会は、法第244条の2第11項の規定により、前条第1項及び第2項の規定による指定を取り消し、又は期間を定めて管理及び運営の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。
- 2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され、新たな指定管理者が分館の管理及び運営を行うまでの期間又は指定管理者が管理及び運営の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間における分館の管理及び運営は、必要に応じて教育委員会が行うものとする。この場合において、第4条及び第6条から第12条までの規定中指定管理者の特権とされているものについては、教育委員会の特権とし、教育委員会がしたものとみなす。
- 3 前項の場合において、分館利用者は、第9条第3項の規定により定められた利用料金の額を分館の施設及び設備の使用料として市長に納付しなければならない。
- 4 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理及び運営の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じても、教育委員会はその賠償の責めを負わない。
(指定管理者の指定等の公示)
- 第21条 教育委員会は、指定管理者の指定をしたとき、又はその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公示するものとする。

(事業報告書の作成及び提出)

第22条 指定管理者は、毎年度終了後2月以内に、次に掲げる事項を記載した事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。ただし、年度の途中において指定管理者の指定を取り消されたときは、その取り消された日から起算して2月以内に当該年度の当該日までの間の事業報告書を提出しなければならない。

(1) 分館の管理業務の実施状況及び利用状況

(2) 分館の利用料金の収入状況

(3) 分館の管理に係る経費の収支状況

(4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者による分館の管理の実態を把握するために必要なものとして教育委員会が別に定める事項

(報告の聴取等)

第23条 教育委員会は、分館の管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し、定期に、又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の原状回復義務)

第24条 指定管理者は、分館の管理の期間が満了したとき、又は指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めてその管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった分館の施設及び設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を受けたときは、この限りでない。

(指定管理者の秘密保持義務)

第25条 指定管理者の業務に関与する者は、分館の管理の業務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。指定管理者の業務に関与しなくなった後も、同様とする。

(委任)

第26条 この条例に定めるもののほか、自然史博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、規則及び教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に改正前の福井市自然史博物館設置条例第5条に規定する福井市自然史博物館協議会の委員である者は、この条例の施行の日に、改正後の福井市自然史博物館設置及び管理に関する条例第14条第3項の規定により福井市自然史博物館運営協議会の委員に委嘱され、又は任命された者とみなす。この場合において、その委嘱され、又は任命されたものとみなされる者の任期は、同条第4項の規定にかかわらず、平成25年6月30日までとする。

附 則(平成26年9月24日条例第38号)

(施行期日)

1 この条例は、平成28年4月1日から施行する。

(準備行為)

2 指定管理者の指定及びその指定に関し必要なその他の行為は、この条例の施行の日前においても、第18条、第19条及び第21条の規定の例により行うことができる。

3 前項の規定により指定を受けた指定管理者は、この条例の施行の日前においても、第7条及び第8条の規定の例により分館の利用の承認及び不承認を行うことができる。

附 則(平成31年3月20日条例第7号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日(以下「施行日」という。)から施行する。ただし、第1条中福井市にぎわい交流施設の設置及び管理に関する条例第2条の改正規定、第9条中福井市総合ボランティアセンターの設置及び管理に関する条例第2条の改正規定、第17条中福井市観光物産館の設置及び管理に関する条例第2条の改正規定、第40条中福井市中央卸売市場業務条例第44条の改正規定、第51条中福井市児童館条例第2条の改正規定、第58条中福井市自然史博物館の設置及び管理に関する条例第2条の改正規定及び第61条中福井市おさごえ民家園条例第5条の改正規定は、公布の日から施行する。

(使用料等に関する経過措置)

2 この条例(第43条、第56条及び第57条の規定を除く。)による改正後のそれぞれの条例の規定は、施行日以後の使用、利用、占用、観覧、配湯、採取及び搬入等(以下「使用等」という。)に係る使用料、利用料、利用料金、占用料、観覧料、配湯料、採取料、土砂採取料及び手数料(以下「使用料等」という。)について適用し、施行日前の使用等に係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

区分		金額
常設展	個人	100円
	団体	50円
特別展	個人	市長がその都度定める額
	団体	特別展に係る個人の入館料の2分の1に相当する額

備考

- 1 団体とは、1団の入館者の数が20人以上のものをいう。
- 2 常設展は、次に掲げる者については、無料とする。
 - (1) 中学生以下の者
 - (2) 70歳以上の者
 - (3) 障害者（障害者基本法（昭和45年法律第84号）第2条第1号に規定する障害者をいう。以下同じ。）

別表第2（第9条関係）

区分	単位	金額
常設展	個人	1日 410円
	団体	1日 330円
ドームシアター（通常上映に限る。）	個人	一般 1回 620円
		子ども 1回 310円
	団体	一般 1回 490円
		子ども 1回 250円

備考

- 1 団体とは、1団の分館利用者の数が20人以上のものをいう。
- 2 常設展の利用料金については、次に掲げる者は無料とする。
 - (1) 中学生以下の者
 - (2) 70歳以上の者
 - (3) 障害者
- 3 ドームシアター（通常上映に限る。）の利用料金については、次に掲げる者は無料とする。
 - (1) 3歳未満の者
 - (2) 障害者
- 4 一般とは、15歳以上の者（中学生を除く。）をいう。
- 5 子どもとは、一般を除く3歳以上の者をいう。